

画像解析を中心に優れた AI 技術を保有するベンチャー企業 株式会社 HACARUS への出資について

2020 年 4 月 24 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社(代表取締役社長:本荘武宏)は、画像解析を中心に優れた AI 技術を保有するベンチャー企業である株式会社 HACARUS(代表取締役 CEO:藤原健真、以下、「HACARUS」)に出資しました。HACARUS の持つ AI 技術を活用し、更なる業務効率化や保安水準の向上、サービスの高度化に取り組んでいきます。

HACARUS は、少量データからの識別や予測を可能にする AI 手法「スパースモデリング※1」を軸に、産業・医療分野にオリジナルソリューションを提供しています。

当社は、業務効率化等を実現するため、2019 年 8 月に HACARUS と AI・IoT ソリューション共同開発に関する基本合意書を締結しました。その後、ガス導管の保安水準の向上を目的とした「地中埋設物探査における AI 判定」や、お客さま先の製品品質の均一化を目指した「工場における製品不良の AI 検知」等の実証試験※2 を行ってきました。

当社は、実証試験を経て、今後 HACARUS の AI 技術は当社の様々な業務効率化に加え、保安水準の向上やサービスの高度化に資する可能性があるかと判断したため、出資を行うこととしました。

Daigas グループは、長期経営ビジョン「Going Forward Beyond Borders 2030」において、先端技術・最新手法を取り入れることで、「お客さまの期待を超える商品・サービス」を提供し続けることを掲げており、今後もオープンイノベーションなどを一層推進し、暮らしやビジネスに役立つ新たなサービスの提供を目指してまいります。

※1: 少量データで AI の学習が可能であるため、一般的技術であるディープラーニングと比較し、一定の条件下において、安価、計算スピードの速さ、透明性の高さという点で、技術優位性を有する HACARUS 独自の画像解析技術です。

※2: 地中埋設物探査や製品不良の検知には、ともに熟練の技能が必要です。熟練者の判断力を AI に学習させることで、地中レーダー画像から埋設ガス管の位置を読み取ることや、製品の良品・不良品の判定や異常品を自動検知することが可能となれば、経験の深さにかかわらず精度の良い判定が実現します。

以上

(別紙)

1. 株式会社 HACARUS の概要

- 所在地 : 京都府京都市
- 設立 : 2014 年
- 資本金 : 1 億円
- 代表取締役 CEO : 藤原健真

Daigas グループが持つ技術力やグローバルに展開する事業活動を、
Web サイトページ「ENTERPRISE FUTURE」で紹介しています。
(PC 版) https://www.osakagas.co.jp/company/enterprise_future/
(スマホ版) https://www.osakagas.co.jp/sp/company/enterprise_future/

以上